

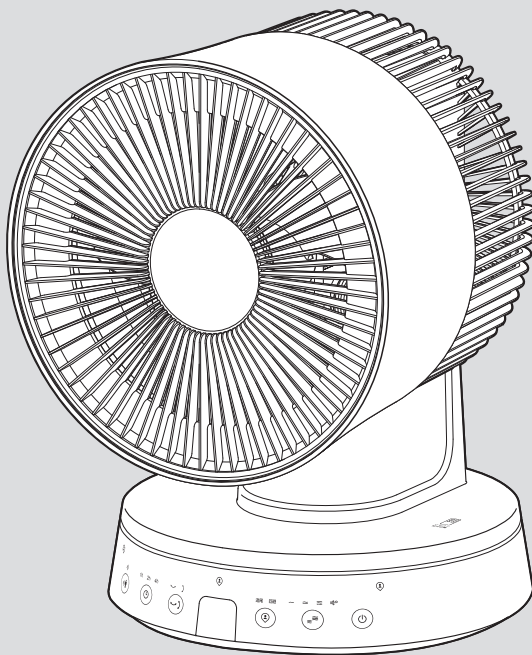
THREEUP

THREEUP

W節電センサー付 ムービングサーキュレーター

CF-T2380

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…………… 1～3
- パッケージ内容…………… 3
- 仕様…………… 3
- 各部のなまえ…………… 4

ご使用前に

- リモコンについて…………… 5
- 設置について…………… 6

ご使用方法

- 運転する…………… 7
- 停止する…………… 7
- 風量を切り替える…………… 8
- オフタイマーを使う…………… 8
- 首振り運転をする…………… 9
- 追尾・回避モードを使う…10～12
- 節電センサーモードを使う… 13

点検・修理



- お手入れと保管方法…………14～16
- 故障かな?と思ったら………… 17
- 長期使用製品についてのご注意… 17
- 保証・サービス…………… 18

はじめに







安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。
屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。



禁止

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

風を長時間、直接身体にあてないでください。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方は注意してください。
健康を害する原因になります。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災ややけどの原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。
ボタン電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れてたり、水に濡らしたりしないでください。
また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。
異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。



必ず守る

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。
落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

警告

電源プラグや電源コードを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにお問い合わせください。



必ず守る

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

前/後ろガードや羽根を取り外した状態で運転しないでください。

ケガや事故、故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。

移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

落下、転倒などにより、ケガや事故の原因になります。



禁止



禁止

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

衣類の真下やカーテンの近く、本体に衣類をかけて使用しないでください。

吸い込みによる故障や事故の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

手動で首振りの角度を変更しないでください。故障の原因になります。

はじめに

⚠ 注意

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

犬や猫などのペット用として使わないでください。

ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障の原因になります。



禁止

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

・電極 (+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。

・汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



必ず守る

ボタン電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

・「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

・節電センサー /ムービングセンサー部分が汚れていると、作動しなかったり誤作動したりする場合があります。

周囲の環境に注意して設置してください。

「設置について」と「追尾・回避モードを使う」、「節電センサーモードを使う」をご確認ください。



接触禁止

運転(羽根の回転)中は、ガードの内側に髪の毛などが巻き込まれないように十分に注意してください。

また、ガードの内側に指などを入れないでください。

ケガや故障の原因になります。

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本体一式	1	リモコン (CR2032電池内蔵)	1
取扱説明書 (保証書付き) 本書	1	—	—

仕様

本体サイズ	幅25.5×奥行28×高さ36cm	重量	約3 kg
材質	ABS、PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	45W	風量設定	4段階
自動首振り	上下90°、左右120°	オフタイマー設定	1・2・4時間
機能	追尾・回避モード、節電センサーモード、メモリー機能		
適用畳数 (目安)	22畳	1時間あたりの電気代	約1.4円
コード長	約1.5 m	—	—

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

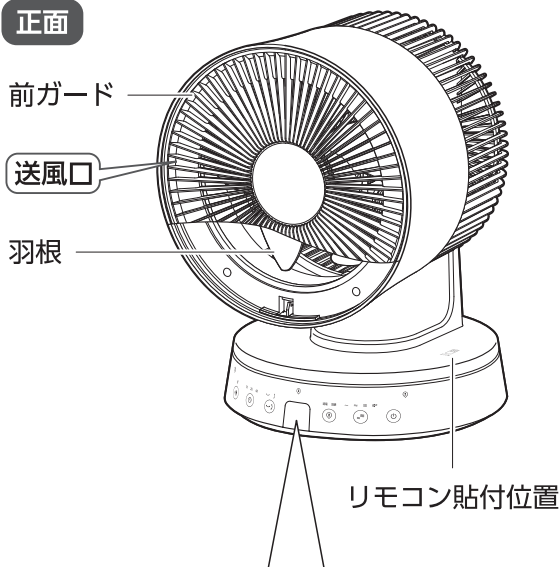
※ 適用畳数 (目安) は当社基準により設定しております。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh (税込) で計算した際の目安となります。

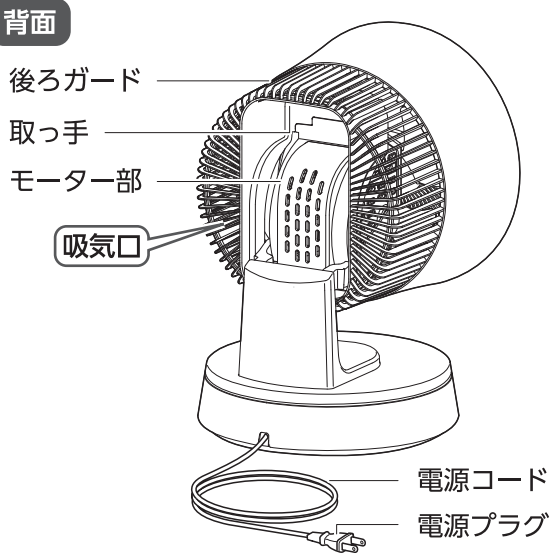
各部のなまえ

■ 本体

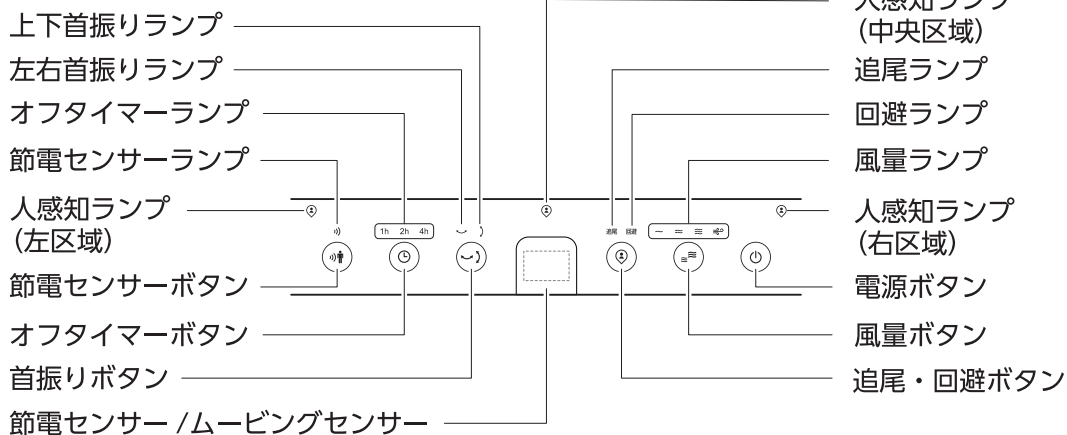
正面



背面

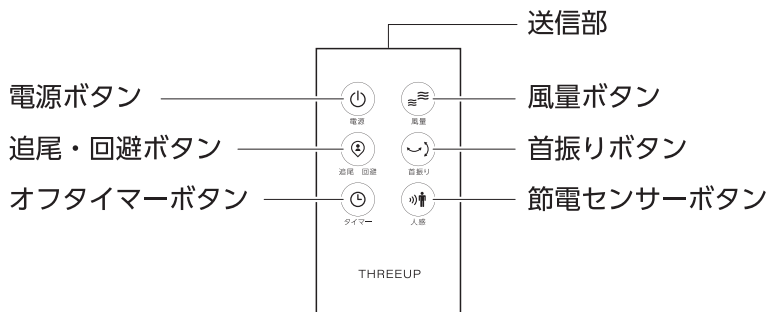


操作部



■ 付属品

- リモコン



ご使用の前に

リモコンについて

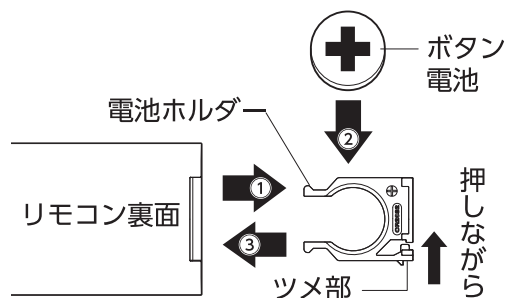
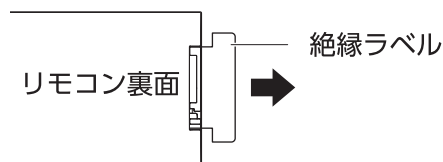
工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。

■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2032」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がるまではめ込みます。

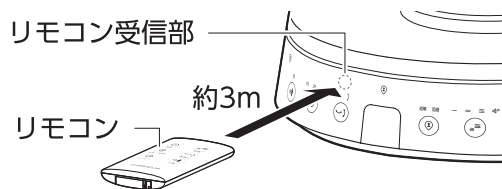


■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約3mです。

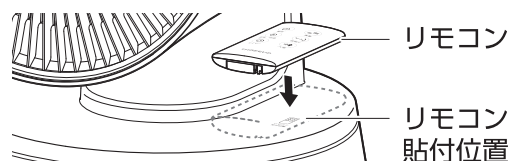
テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。

そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



■ 収納について

リモコンは本体のリモコン貼付位置に貼り付けることができます。

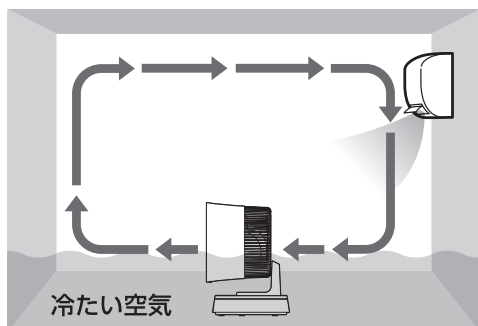


設置について

- 本体は障害物がなく、安定した水平な場所に設置してください。
 - ・ 不安定な場所や棚の上への設置は、転倒や落下によるケガや破損の原因になります。
 - ・ カーテンなどの近く、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置すると、巻き込みによる事故や転倒、破損の原因になります。
- 用途にあわせて設置場所や吹出方向を変えて、効率よく空気を循環させてください。

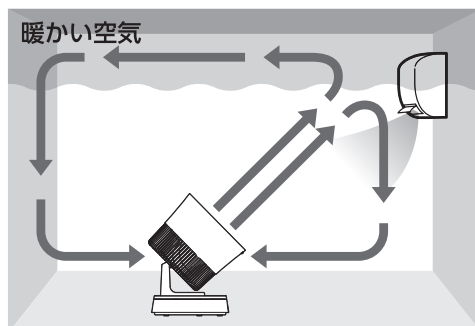
■ 設置例

冷房使用時



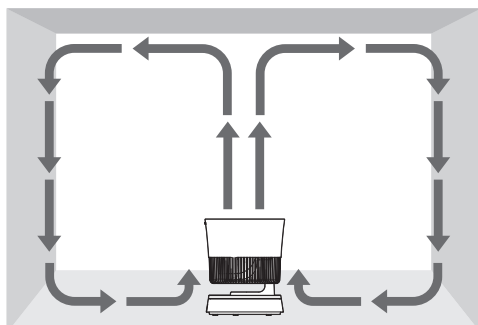
床にたまった冷たい空気を循環させ、部屋全体を快適にします。

暖房使用時



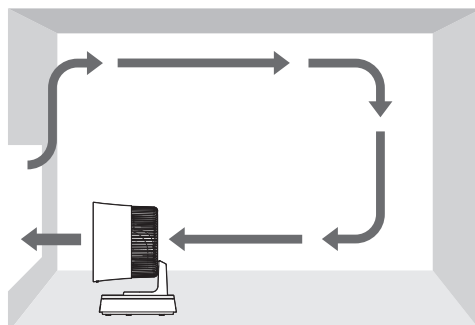
天井にたまった暖かい空気を循環させ、足元まで快適にします。

循環



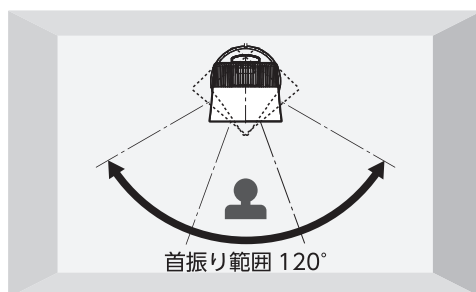
天井に風を送り、部屋全体の空気を循環させます。

換気



部屋の空気を入れ替えます。

■ 追尾・回避モード使用時の設置位置

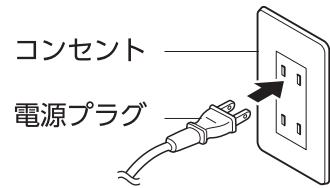


前方3m、左右各60°の範囲の障害物は避けて設置してください。

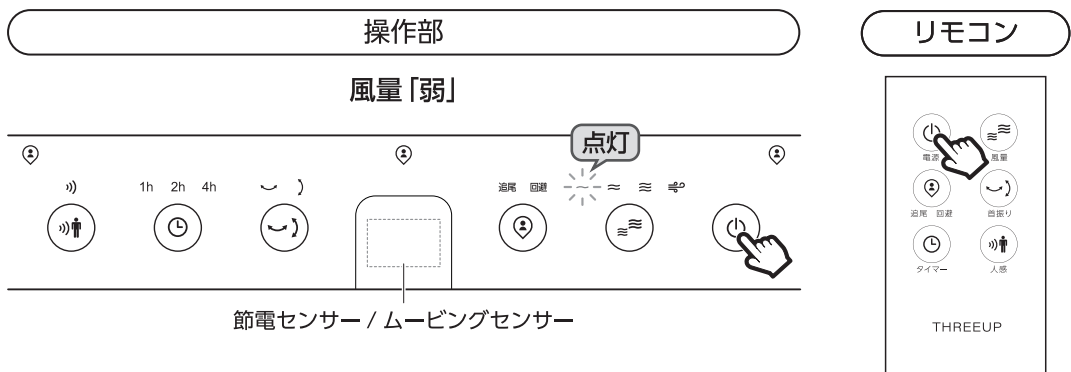
ご使用方法

運転する

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピッピッ”と電子音が鳴ります。



- ② 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。
『風量』ランプ「弱」が点灯し、風量「弱」で運転を開始します。
- 本体とリモコンのボタン操作時は、“ピッ”と電子音が鳴ります。
 - お好みで風量設定、上下首振り設定、左右首振り設定、オフタイマー設定、節電センサーモード設定、追尾・回避モード設定を行ってください。



注意

節電センサー / ムービングセンサー部は柔らかい材質になっております。
故意に押すなどして変形させたり傷付けたりすると、センサーが正しく反応しなくなるおそれがありますのでご注意ください。

停止する

運転中に本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。
“ピーッ”と電子音が鳴って、全てのランプが消灯し、運転を停止します。
ご使用にならない時は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ

左右首振り運転と追尾・回避モードの設定時に停止した場合は、中央部まで自動首振りしたあとに停止します。

メモリー機能

一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。
(オフタイマー設定は除く)

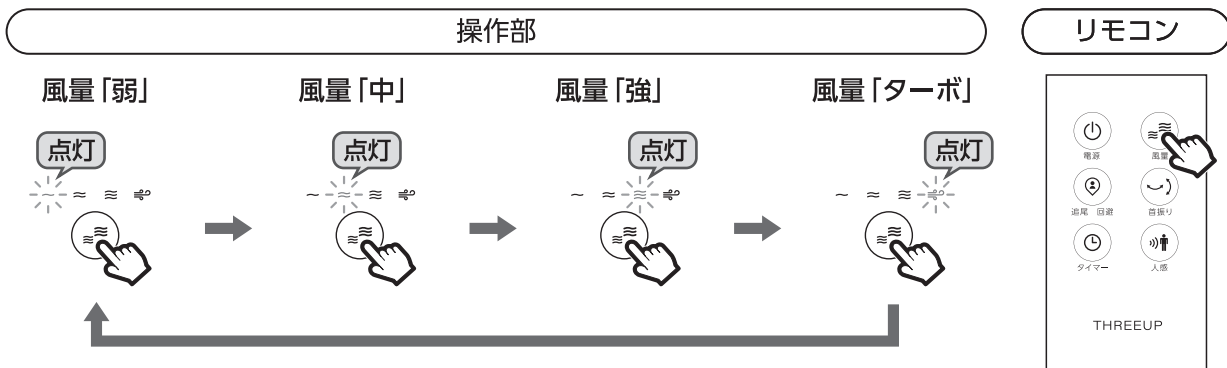
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、風量「弱」で運転を開始します。

風量を切り替える

送風運転時の風量を「弱」、「中」、「強」、「ターボ」の4段階で切り替えることができます。

運転中に本体またはリモコンの『風量』ボタンを押します。

『風量』ボタンを押すたびに風量が切り替わり、設定にあわせて点灯する『風量』ランプも切り替わります。



オフタイマーを使う

1時間、2時間、4時間で設定した時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーの設定のしかた

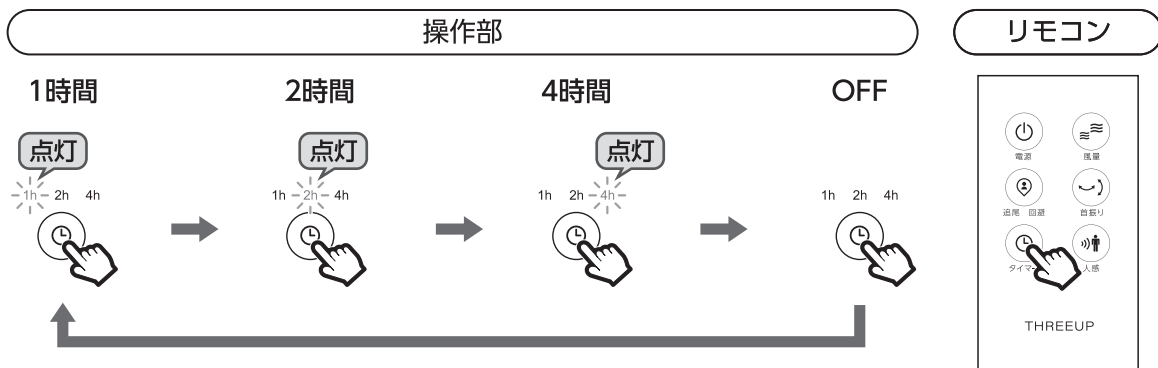
運転中に本体またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを押します。

『オフタイマー』ボタンを押すたびに設定時間が切り替わり、設定にあわせて点灯する『オフタイマー』ランプも切り替わります。

時間経過にあわせて点灯する『オフタイマー』ランプが切り替わり、残時間を表示します。

■ オフタイマーの解除のしかた

オフタイマーを解除する場合は、『オフタイマー』ランプが消灯するまで『オフタイマー』ボタンを押してください。



ご使用方法

首振り運転をする

左右方向、上下方向、上下左右方向の3段階で首振り運転の方向を設定できます。

⚠ 注意



禁止

上下方向と左右方向ともに手で首振りをしないでください。
設定した角度で動かなくなるなど故障の原因になります。

■ 首振り運転の設定のしかた

運転中に本体またはリモコンの『首振り』ボタンを押します。

『首振り』ボタンを押すたびに首振り方向が切り替わり、設定にあわせて『左右首振り』ランプまたは『上下首振り』ランプもしくは両方のランプが点灯します。

■ 首振り運転の解除のしかた

首振り運転を解除する場合は、『左右首振り』ランプと『上下首振り』ランプが消灯するまで『首振り』ボタンを押してください。

操作部

左右首振り

上下首振り

左右首振り
+
上下首振り

OFF



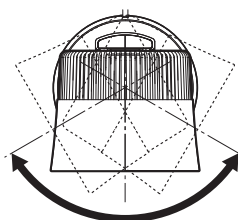
リモコン



■ 首振り角度について

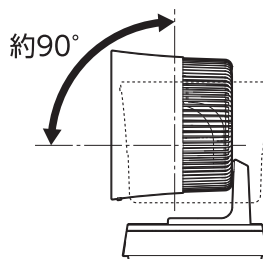
下図の範囲で可動します。

左右首振り範囲



約120°

上下首振り範囲



約90°

メモ

上下首振り運転と左右首振り運転の開始時は、首振りの位置によって最大約45秒の準備時間がかかる場合があります。

追尾・回避モードを使う

追尾モード運転

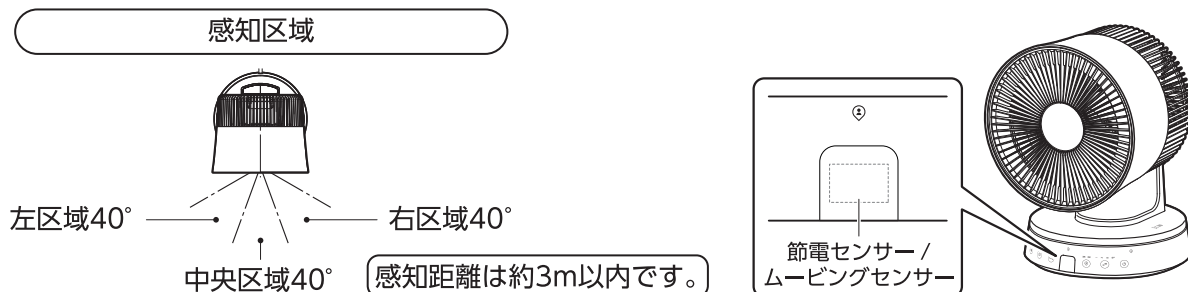
人のいる区域に集中して左右首振り運転をすることで無駄なく送風します。

回避モード運転

設定した風量で送風しながら左右首振り運転し、人のいる区域は自動で風量「弱」に切り替わります。

■ 追尾・回避モードの感知区域

ムービングセンサーが120°の感知区域を3分割して感知します。



■ 人感知ランプについて

各感知区域で約5秒以上連続して人の動きを感知すると、センサーが反応し、『人感知』ランプが点灯します。



- 一度人を感知したあとに連続で約1分間、人を感知しないと最後に感知した区域のランプが点滅します。
- 異なる区域内で複数人が立ち止まると、『人感知』ランプ(中央区域)が点灯します。

■ 設置環境

- ムービングセンサーの特性上、次のような場所では作動しなかったり、誤作動したりする場合があります。
 - カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物などの近く)
 - ムービングセンサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
 - エアコンなどの送風を受ける場所
 - 温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
 - 湿度の高い場所や加湿器の近く
- 人がいても、ゆっくりとした動きや速い動き、小さい動き、じっとしているときなどにはムービングセンサーは感知しません。
- ペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

メモ

- 追尾・回避モードの初回使用時は、首振りの位置によって最大約30秒の準備時間がかかる場合があります。
- 各感知区域の隣接区間では、立ち止まる位置によりムービングセンサーが誤感知する場合があります。

ご使用方法

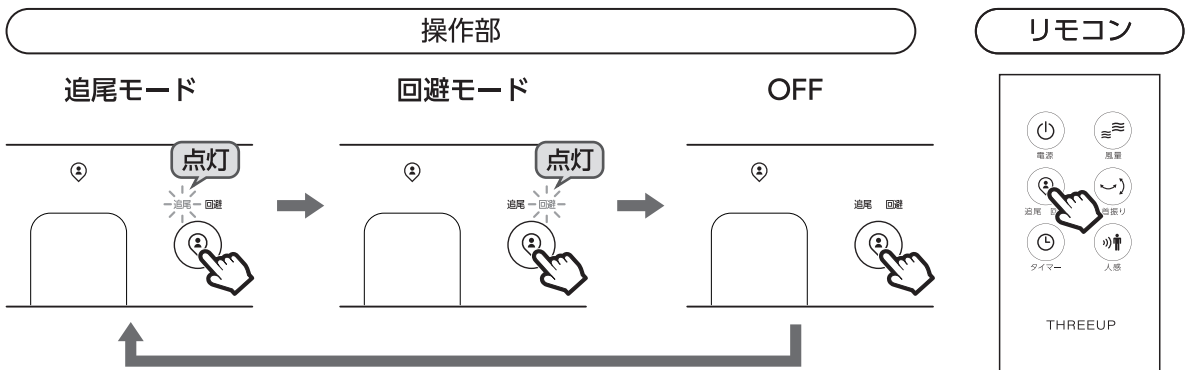
■ 追尾・回避モードの設定のしかた

運転中に本体またはリモコンの『追尾・回避』ボタンを押します。

『追尾・回避』ボタンを押すたびに追尾モードと回避モードが切り替わり、設定にあわせて『追尾』ランプまたは『回避』ランプが点灯します。

■ 追尾・回避モードの解除のしかた

追尾・回避モードを解除する場合は、『追尾』ランプまたは『回避』ランプが消灯するまで、繰り返し『追尾・回避』ボタンを押してください。



■ 他の運転モードとの同時設定について

追尾・回避モードは送風運転、オフタイマー設定、上下首振り運転、節電センサーモードとあわせて設定できます。

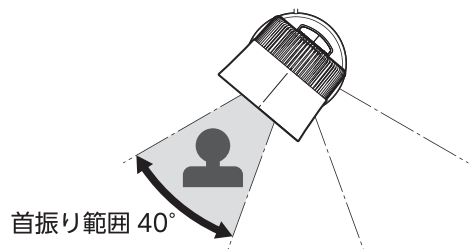
上下首振り運転のみ「ON」/「OFF」の設定ができ、設定中は『上下首振り』ランプが点灯します。

追尾モード運転

• 人を感知するまで120° の範囲で左右首振り運転します。

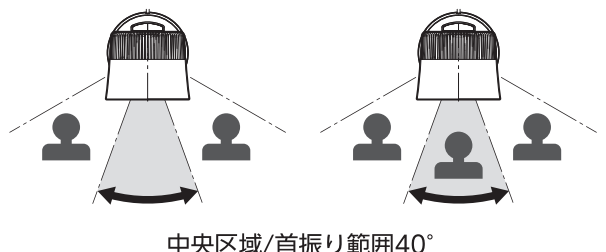
• 感知した区域が1区域の場合は、感知した区域の『人感知』ランプが点灯し、感知区域内を40° の範囲で左右首振り運転します。

● (例) 左区域に人を感知した場合



• 感知した区域が複数区域の場合は、中央区域の『人感知』ランプが点灯し、中央区域内を40° の範囲で左右首振り運転します。

● (例) 複数区域で同時に人を感知した場合

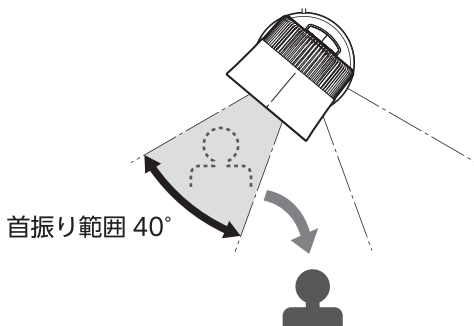


- 人を感知しなくなった場合は、最後に感知した区域の『人感知』ランプが点滅し、最後に感知した区域内を40°の範囲で左右首振り運転を続けます。

メモ

風量ランプ表示は変わりません。

- (例) 左区域に人を感知していた場合

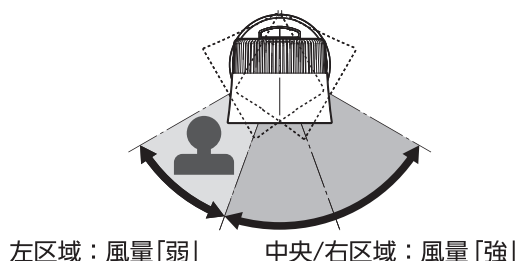


回避モード運転

- 下記の風量設定で人を感知するまで120°の範囲で左右首振り運転します。
 - 風量「中」、「強」、「ターボ」はそのままの風量で運転します。
 - 風量「弱」は自動で「中」に切り替わって運転します。

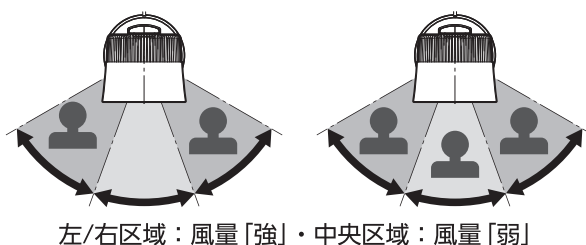
- 感知した区域が1区域の場合は、感知した区域の『人感知』ランプが点灯し、感知区域内は風量「弱」に切り替わって左右首振り運転します。

- (例) 風量「強」で左区域に人を感知した場合



- 感知した区域が複数区域の場合は、中央区域の『人感知』ランプが点灯し、左区域と右区域は風量「強」で、中央区域を風量「弱」で左右首振り運転します。

- (例) 風量「強」で複数区域に人を感知した場合

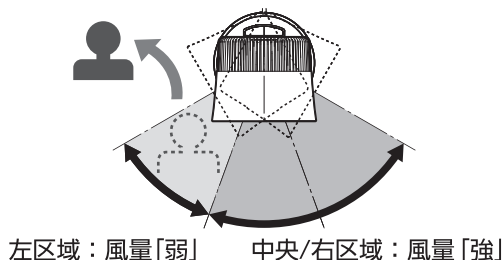


- 人を感知しなくなった場合は、最後に感知した区域の『人感知』ランプが点滅し、最後に感知した区域は風量「弱」に切り替わって左右首振り運転を続けます。

メモ

風量ランプ表示は変わりません。

- (例) 風量「強」で最後に左区域に人を感知した場合



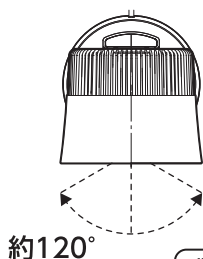
ご使用方法

節電センサーモードを使う

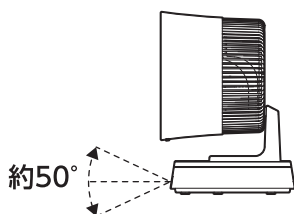
節電センサーで人の動きを感知して、自動的に運転と停止を切り替えます。

■ 節電センサーの感知範囲

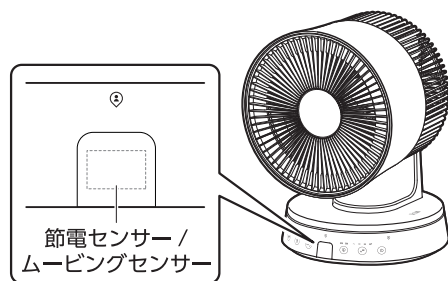
左右方向 感知範囲



上下方向 感知範囲



感知距離は約3m以内です。



■ 設置環境

● 節電センサーの特性上、次のような場所では作動しなかったり、誤作動したりする場合があります。

- カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
- 節電センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
- エアコンなどの送風を受ける場所
- 温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
- 湿度の高い場所や加湿器の近く

● 人がいても、ゆっくりとした動きや速い動き、小さい動き、じっとしているときなどには節電センサーは感知しません。

● ペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

■ 節電センサーモードを設定する

運転中に本体またはリモコンの『節電センサー』ボタンを押します。

『節電センサー』ボタンを押すたびに「ON」/「OFF」が切り替わり、設定にあわせて『節電センサー』ランプが点灯または消灯します。

メモ 節電センサーが連続で約2分間、人を感知しないと『節電センサー』ランプが点滅して待機状態となります。

待機中に節電センサーが人を感知すると“ピッ”と電子音が鳴り、『節電センサー』ランプが点灯して運転を再開します。

操作部

OFF



ON



ON
(待機状態)



リモコン



■ 他の運転モードとの同時設定について

節電センサーモードは送風運転、オフタイマー設定、上下/左右首振り運転、追尾・回避モードとあわせて設定できます。

お手入れと保管方法

警告



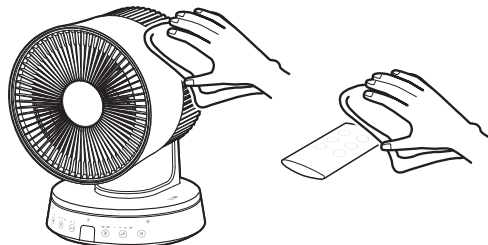
必ず守る

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やケガの原因になります。

■ 本体とリモコンのお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。その後乾いた柔らかい布で拭いて、しっかりと乾かしてください。

- お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- リモコンのボタン電池は取り外してください。

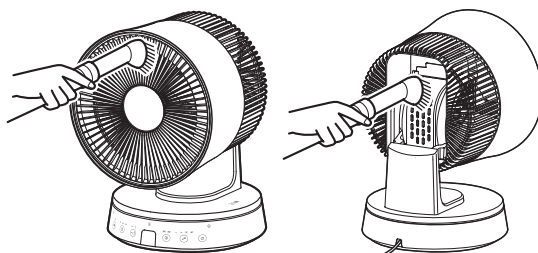


■ 前ガード、後ろガード、羽根のお手入れ

ガードのすき間にたまったホコリは掃除機で吸い取ってください。


汚れがひどい場合は、前ガード、後ろガード、羽根を取り外して、お手入れをしてください。

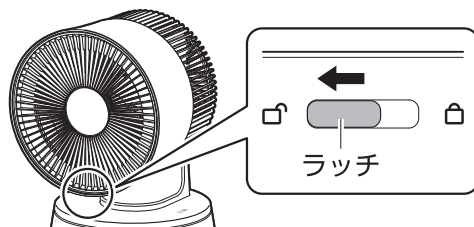
- ホコリがたまった状態でご使用を続けると、モーターの過熱や異常音などの原因になります。定期的に点検、お手入れをしてください。
- 取り外した状態で水洗いもできます。水洗いをしたあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。



■ 前ガード、後ろガード、羽根の取り外し/取り付けかた

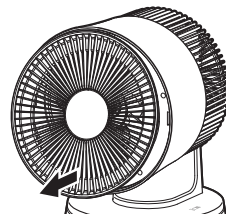
① 前ガードのロックを解除します。

前ガードが落下しないように手を添えながらラッチを「」マークの方向にスライドさせてください。




② 前ガードを後ろガードから取り外します。

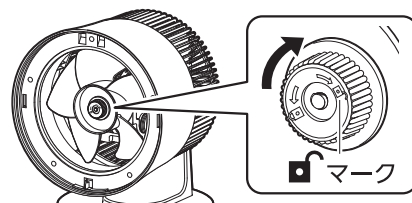
前ガードの下側を手前に引いてください。



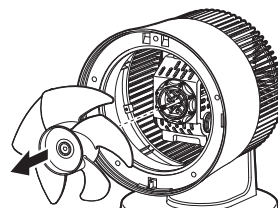
点検・修理

③ スピンナーを取り外します。

片手で羽根を持ち、スピナーを「」マークの方向(時計回り)にネジ部から外れるまで回してください。

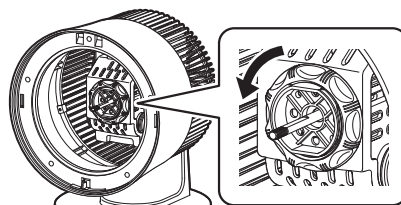


④ 羽根を手前に引いて取り外します。

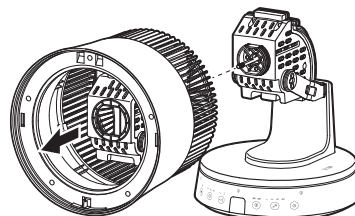


⑤ 固定ナットを取り外します。

反時計回りにネジ部から外れるまで回してください。



⑥ 後ろガードを手前に引いて取り外します。

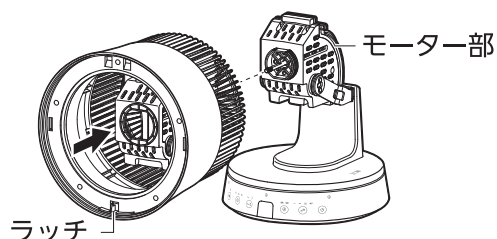


⑦ 前ガード、後ろガード、羽根を本体と同様にお手入れをします。

お手入れ後は陰干しをして十分に乾かしてください。

⑧ 後ろガードを取り付けます。

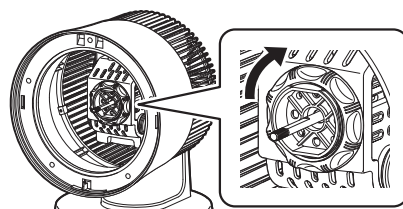
ラッチ側を下に向けて、後ろガードをモーター部に取り付けてください。



⑨ 固定ナットを取り付けます。

固定ナットをネジ部に取り付け、時計回りに止まるまで締め付けてください。

※固定ナットを過度に締め付けしないでください。
破損の原因になります。

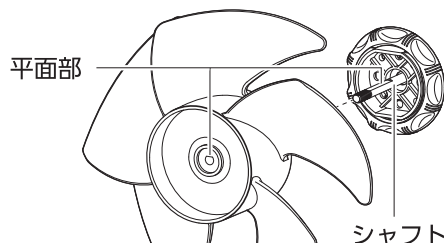


⑩ 羽根をシャフトに差し込みます。


羽根の取付穴の平面部とシャフトの平面部をあわせてください。

注意

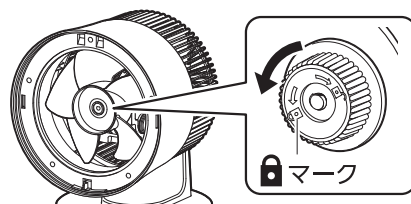
羽根の前後方向をイラストにあわせてください。



⑪ スピナーを取り付けます。

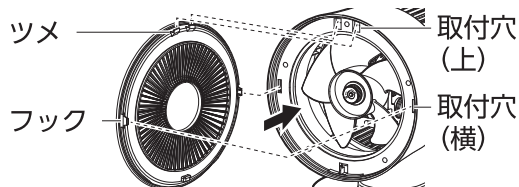
片手で羽根を持ち、スピナーをシャフトに取り付け、「」マークの方向 (反時計回り) にしっかりと締め付けてください。

※スピナーの締め付けが緩いまま使用すると、本体が振動したり音が大きくなったりして、羽根の破損や故障の原因になります。




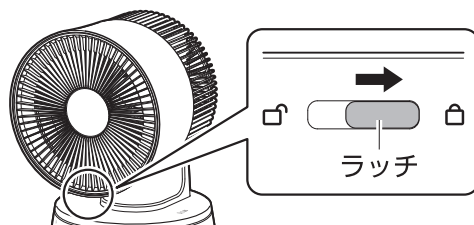
⑫ 前ガードを後ろガードに取り付けます。

ツメ (2か所) を取付穴 (上) に引っ掛けながら、フック (2か所) を取付穴 (横) に「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと差し込んでください。



⑬ 前ガードを固定します。

ラッチを「」マークの方向にスライドさせてください。



■ 保管方法

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをしてしっかりと乾かしてください。湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極 (+/-) にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- 本体にポリ袋をかぶせてお買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが外れている。 電源が入っていない。 通電していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 ブレーカーが落ちていないか確認してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーが設定されている。 節電センサーモードが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマー設定時は、設定時間になると自動的に運転を停止します。設定を解除してください。 『節電センサー』ボタンを押して節電センサーモードを解除してください。
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 『電源』ボタンを押していない。 ボタン電池が消耗している。 ボタン電池の入れかた(+/-)が間違っている。 本体の受信部にリモコンを向けていない。またはリモコンと受信部の間に障害物がある。 本体とリモコンとの距離が離れている。 本体の受信部とリモコンの送信部が汚れている。 本体の電源が入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 『電源』ボタンを押してください。 新しいボタン電池に交換してください。 ボタン電池を正しい向きに入れ直してください。 障害物を取り除き、リモコンを本体に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。 操作距離は直線で約3mです。操作位置または本体の設置場所を変更してください。 本体の受信部とリモコンの送信部のお手入れをしてください。 本体の『電源』ボタンを押して運転を開始してください。本体の電源が入っている場合は、リモコンで操作することができます。
運転音が大さい	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に設置している。 羽根にホコリが付着している。 前ガードや後ろガード、羽根、スピナーが正しく取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。 「お手入れと保管方法」に従って、正しく取り付けてください。
首振り時に音がする	<ul style="list-style-type: none"> 首振り運転時にモーターの音が大きくなることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 首振りモーター特有の音で、故障ではありません。
節電センサー/ムービングセンサーが感知しない	<ul style="list-style-type: none"> 各モードが設定されていない。 センサー部が汚れている。 センサー部に直射日光が当たる場所や、カーテンなど風で揺れるものの近くに設置している。 センサーの感知範囲を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 操作部のボタンを押して各モードに切り替えてください。 センサー部のお手入れをしてください。 設置環境について、各モードの説明ページをご確認ください。 センサーの感知範囲内でお使いください。(上下50°、左右120°、感知距離3m以内)
ムービングセンサーが正しく感知しない	<ul style="list-style-type: none"> 各感知区域の隣接区間に立ち止まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各感知区域の隣接区間では、立ち止まる位置によりムービングセンサーが誤感知する場合があります。「追尾・回避モードを使う」をご確認の上、希望する区域で感知する位置へ移動してください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。

長期使用製品についてのご注意

長期間の使用により下記のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートにご相談ください。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを入れてもファンが回らない。 ● ファンが回っても、回転が不規則に変化する。 ● 回転するときに異常な音や振動がする。 | <ul style="list-style-type: none"> ● モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。 ● 電源コードが折れ曲がったり破損している。 ● 電源コードに触れると、電源が切れたり入ったりする。 |
|---|---|